



臼井吉見文学館

小説「安曇野」を執筆した臼井吉見氏の愛用の品々や生原稿などを収蔵、展示しています。



開館時間：9時～17時
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
入館料：高校生以上300円
問い合わせ：☎72・6743

貞享義民記念館

明治の自由民権運動の礎となった、江戸時代の多田加助を中心とする義民騒動に関する資料などを展示しています。



開館時間：9時～17時
休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
入館料：高校生以上300円
問い合わせ：☎77・7550

穂高陶芸会館

信斎焼、洗馬焼、入道焼の貴重な古民芸陶器を常設展示。作陶設備もあり、手作りのカップなど陶芸が楽しめます。(要予約)



開館時間：9時～17時
(11月・3月は16時まで)
休館日：月曜日、祝日の翌日、年末～2月
入館料：高校生以上200円
陶芸体験：陶土500g/高校生以上2,000円、
中学生以下1,800円
問い合わせ：☎82・6750

開催予定の講座

親子陶芸教室

7月30日(土)、8月6日(土)

飯沼飛行士記念館

昭和12年「神風号」で東京欧州間を飛行した、豊科出身の飯沼正明氏を顕彰しています。

開館時間：9時～17時
休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
入館料：高校生以上400円
問い合わせ：☎72・9045

安曇野市豊科郷土博物館

安曇野市の自然・歴史・民俗・文化の資料を収集。市の郷土センターとして地域の再発見につながる展覧会を企画、開催しています。



開館時間：9時～17時
休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
入館料：高校生以上100円
問い合わせ：☎72・5672

開催中の企画展

安曇野の昭和の子ども

～学ぶ・遊ぶ・暮らす～
会期：～8月28日(日)

学芸員からひと言

昭和時代へタイムスリップ！
夏休みは「おひさま」の時代を体験しよう！



安曇野高橋節郎記念美術館

安曇野市出身の漆芸家高橋節郎の作品を収蔵、展示。生家も公開され高橋節郎の人と芸術に触れることができます。



開館時間：9時～17時(12月～2月は16時)
休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
入館料：企画展中は大人600円、高校・大学生400円、通常は大人400円、高校・大学生300円
問い合わせ：☎81・3030

開催中の企画展

山本安曇と高橋節郎展

～同郷、同窓の2人の工芸家
会期：～8月28日(日)

学芸員からひと言

安曇野出身の二人の工芸家の企画展、二人の作品が同じ場所に展示されるのは約65年ぶりです。ぜひご来館ください。



安曇野市豊科近代美術館

高田博厚の彫刻、宮芳平の絵画、安曇野出身の小林邦、奥村光正などの絵画を収蔵、展示しています。



開館時間：9時から17時
休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
入館料：大人500円、高校・大学生300円
問い合わせ：☎73・5638

開催中の企画展

安曇野モダン

～飯沼一道・奥村光正～
会期：～10月23日(日)

学芸員からひと言

抽象絵画は難しいと思われがちですが、安曇野出身の画家が描いた身近な作品をお楽しみください。



田淵行男記念館

昆虫生態研究家で自然写真家の田淵行男の現存する作品と愛用の品々を収蔵。山岳、昆虫ファン必見です。



開館時間：9時～17時
(12月～2月は16時まで)
休館日：月曜日、祝日の翌日(9月24日は開館)、
年末年始
入館料：高校生以上300円
問い合わせ：☎72・9964

開催中の企画展

田淵行男写真展

～シリーズ「尾根路」と「高山蝶」を中心に～
会期：～10月23日(日)
会場：1階展示室

佐々木崑回顧展

「小さい生命」
会期：～9月11日(日)
会場：地階展示室



郷土資料館／安曇野アートライン 市内加盟館

安曇野市の歴史、暮らし、自然などを知るには最寄りの資料館で調べてみましょう。

個性豊かな安曇野アートライン推進協議会に加盟する美術館へも出掛けてみませんか。

※展示内容など詳細については各館へお問い合わせください。

穂高郷土資料館
☎72・8844

三郷民俗資料館
☎77・2109 (三郷公民館)

堀金歴史民俗資料館
☎72・5796 (堀金公民館)

明科歴史民俗資料館
☎62・4605 (明科公民館)

碓氷山美術館
☎82・2094

IIDA・KAN
☎83・6800

安曇野ジャンセン美術館
☎83・6584

絵本美術館 & コテージ
森のおうち
☎83・5670

大熊美術館
☎83・6993

安曇野アートヒルズ
ミュージアム
☎83・5100

museum café BANANA
MOON
☎83・8838

美術館・博物館の おすすめ鑑賞法



田淵行男記念館
副館長(学芸主幹)
財津 達弥

この夏休みはご家族で「対話型鑑賞」をお薦めします。作品や資料をよくみて、お互い考え感じたことを言葉にしながら鑑賞してください。大人の皆さんは、お子さん、お孫さんの自由な発言を肯定的に受け止め、観察や表現をさらに深めるためのヒントを与えてください。美術知識や作品の定まった価値にとらわれず、鑑賞と対話による鑑賞学習を通じて、自分の中に新しい価値を発見してもらえたら幸いです。

中学生以下の方は入館料が無料となりました。ぜひ、多くの皆さんにお出掛けいただき楽しんでいただけたらと思います。

各館学芸員一同、個性的な美術館が数多く点在するこの安曇野が、鑑賞学習の先進地になることを夢みて、今後も展示・講座などを企画してまいります。